

明るい未来を探して ～環境問題の現状と環境への取り組み～

原 梨沙

はしがき

1 章 地球環境の現状

様々な環境問題が地球環境に大きな影響を与え、現在自然と人間の生態系を歪め人類生存の脅威になっている。これらの問題は、私達の豊かな生活が長い年月をかけて引き起こした結果によるものである。これらの問題がすぐに人類滅亡につながるわけではないが、大きな被害がおよぶ前に、私達が存続するための地球環境を残すための対策を直ちに実行する必要がある。今回は問題視されている環境問題の中でも特に①温暖化 ②酸性雨 ③発展途上国に焦点をあて、その現状と今後の取り組みを見ていきたい。

2 章 京都議定書

京都議定書とは、地球環境保全条約を実効性の高いものにするために 1997 年 12 月に京都で開かれた温暖化防止条約 3 回締約国会議(地球温暖化防止京都会議)は、二酸化炭素など温暖化ガスの排出を減らすために先進国に法的拘束力のある削減目標を課することが目的で開催された会議のこと。

3 章 国際環境規格 (ISO)

国際環境規格は企業や自治体などを対象に、企業などが環境保全の立場から自分たちで活動を見直し、具体的な策に取り組める様に一定の手順や手法を標準化したものである。国際環境規格を採用しているかどうかで、企業が環境問題に取り組み、自ら目標を作り達成していくことで「自主性」と、その活動ぶりを誰の目からもわかるようにする「客観性・透明性」を重視しているのによるところが大きい。「環境対策に熱心な企業」なのか「環境対策に無関心な企業」なのかをこれで容易に判断することが出来る。国際環境規格の狙いは企業が環境保全に向けて努力をし続けることにある。

4 章 循環型社会の構築に向けて

持続可能な社会＝循環型社会。環境負荷の小さい社会。

これらの社会を目指すためにまず私たちも身近な所、例えばゴミの分別や紙のリサイクルなど身近な所から活動に参加していくことが大切になる。